

充実のチーム医療により
時代が求める慢性期医療を実現
進化するリハビリテーション病院
医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院



6階サンルーム

この姿勢と実績は広く信頼を集め、その連携ネットワークは、近隣の平塚市など湘南地域はもちろん、神奈川県のはほぼ全

神奈川県秦野市に位置する鶴巻温泉病院は、1979年の開院以来、時代のニーズに合わせて病院機能を充実させて発展し続ける、ケアミックス型（一般病床と慢性病床を併設する）のリハビリテーション病院だ。なかでも回復期リハビリテーション病棟（I）は206床と全国有数の規模を誇る。

回復期リハビリテーション

は、発症から2カ月以内の脳卒中、大腿骨頸部骨折、廃用症候群の患者を対象にして、日常生活動作（ADL）向上を目指して、自宅復帰を支援するもの。鶴巻温泉病院では、約7割が脳卒中患者であり、なかでも重症者の割合が多いのが特徴だ。「ADLの達成度を示すスコアFIM（機能的自立度評価表）が79点以下の重症患者の割合が当院は85%（全国の病院平均は52%）。それでも66%の患者さんが自宅復帰をしています。とかく「リハビリ難民」になりがちな重症患者を受け入れ、高いリハビリ効果を上げる。そのため、スタッフ一丸となって努力を続けてきました」と鈴木龍太院長は語る。

脳卒中などの重症患者を多く受け入れ、

自立を促進するリハビリテーションで高い実績をあげる鶴巻温泉病院。

「患者さんの細かなニーズに応えるチーム医療を実現したい」という姿勢は、地域の信頼を広く集めている。

先端医療レポート

グッドクター
Goo Dr.

選ばれる病院



院長 鈴木 龍太

東京医科歯科大学医学部卒。医学博士。昭和大学藤が丘病院脳神経外科准教授、医療の質・安全管理室室長を経て、2009年より現職。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。日本リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医。日本脳卒中学会会員。

域の病院に広がっている。最近、東京の病院からの紹介も入院患者の約10%にのぼっている。患者のADLとQOL（生活の質）向上のために重視しているのが、厚い人員配置によるきめ細かなケアだ。「リハビリテーションを充実させるために当院では理学療法士75名、作業療法士54名、言語聴覚士18名が在職しています。特に回復期リハビリテーション病棟には1病棟につき理学療法士14名、作業療法士9名、言語聴覚士4名と、診療報酬で定められた施設基準よりも大幅に手厚い人員配置を実現しています。スタッフにも余裕が生まれることで、病院内におだやかな笑顔があふれ、結果として患者さんの満足度も上がると考えています」（鈴木院長）

Hospital Data

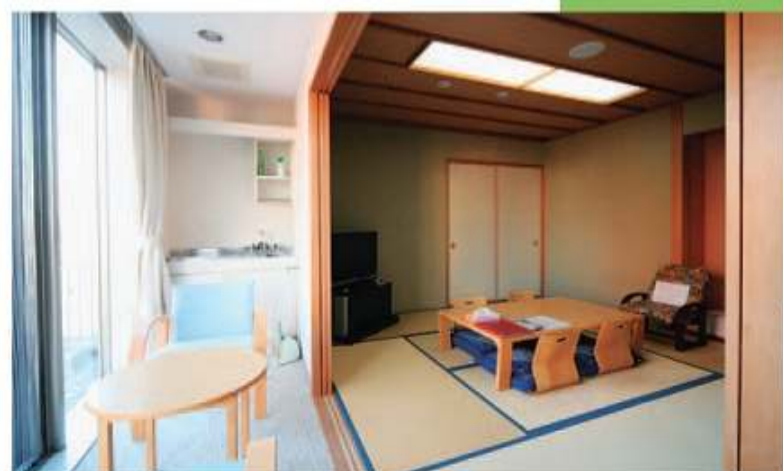


医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院

所在地	神奈川県秦野市鶴巻北1-16-1
URL	www.sankikai.or.jp/tsurumaki
TEL	0463-78-1311
診療科目	内科、リハビリテーション科、 神経内科、歯科
受付時間	14:00~17:00(月曜~金曜) 9:00~13:00(土曜)
休診日	日曜・祝日

その改善のために工夫を重ねている。温泉の恵みを生かし、院内の中庭で始めた足湯・手湯のサービスも好評だという。回復期リハビリテーション病棟のほかには、介護保険療養病棟（180床）、神経難病リハビリセンター（60床）、特殊疾患病棟（60床）、医療療養病棟（60床）、緩和リハビリ療養病棟（25床）を備える。患者の家族を癒やすためのレスパイト入院も実施している。「高齢化の進行によって、慢

性期医療の役割はますます重要になっていきます。社会のニーズに応える機能をさらに充実させ、進化を続ける病院でありたいと思います」（鈴木院長）



和室（南館6階）／患者さまとご家族のプライベート空間として用意しています。病棟ではなく、一緒に過ごすことができます。